

インナー大会プレゼン部門 2016 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学・学部・所属ゼミナール名（フリガナ）		
フリガナ）コマザワダイガク	フリガナ）ケイザイガクブ	フリガナ）マツダゼミナール
駒澤大学	経済学部	松田ゼミナール

※チーム名は参加申込書に記入した名称を記入してください。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数 （代表者含む）	PPT 動画 （有・無）
フリガナ）オゴメ	フリガナ）リョウタ	5	無
尾込	亮太		

研究テーマ（発表タイトル）
RE サイクリングプロジェクト

※必ず「企画シート作成上の注意」を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要（目的・狙いなど）

まだ使用できる廃棄自転車を産業廃棄物として扱うのではなく、安全な自転車にリメイクすることによって有効活用し廃棄自転車を減少させることです。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

現在、自転車ブームや自転車を安く購入できるため自転車の数が増えています。しかし駐輪場には限りがあるため放置自転車となり、持ち主が一定期間経っても回収に来ないため世田谷区では年間 14609 台の自転車が廃棄されています。

3. 研究テーマの課題

廃棄された自転車をどれだけ使いたいという人がいるか、また安全面や運営面でこのプロジェクトは成り立つのかを課題としています。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

地域の廃棄自転車を減らすためにまずは駒澤大学で需要の調査、運営できるかを社会実験として行います。安全面については自転車修理業社と連携し月に一度の点検、保険がついた TS マーク付きの自転車を使用します。そしてその自転車をレンタサイクルとして有効活用します。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

駒澤大学総務課と RE サイクリングプロジェクトの導入を交渉中です。また運営資金として自転車につける広告にアルバイト募集

などの会社に依頼をしています。

6. 結果や今後の取り組み

駒澤大学で RE サイクリングプロジェクトを実施し、このプロジェクトが軌道に乗れば、他大学へ提案し私たちのプロジェクトを広め、大学内でおこる廃棄自転車の減少に繋がります。

7. 参考文献

兼子 仁/関 哲夫『放置自転車条例』北樹出版 1983 年 10 月

風見 正三/山田 浩平『コミュニティビジネス入門』学芸出版社 2009 年 10 月

近藤 隆二郎『自転車コミュニティビジネス』学芸出版社 2013 年 3 月

古倉 宗治『成功する自転車まちづくり』学芸出版 2010 年 10 月

<http://www.ever-cycle.com/> (最終アクセス日 9 月 26 日)

<http://www.city.setagaya.lg.jp/kurashi/107/165/831/d00005236.html> (最終アクセス日 9 月 26 日)

<http://www.sjc.ne.jp/setagaya/> (最終アクセス日 9 月 26 日)

<http://ecochari.com/newecochari/college.html> (最終アクセス日 9 月 26 日)

<http://www.tmt.or.jp/> (最終アクセス日 9 月 26 日)

インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となります。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1 チーム・1 点提出してください。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7 以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、3 ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4 サイズでプリントし、3 ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、「参加メンバー」の変更があった場合、上記「インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項」に記入してください。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HP などに発表されていない）ものに限ります。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経 BP 社・日経 BP マーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。